




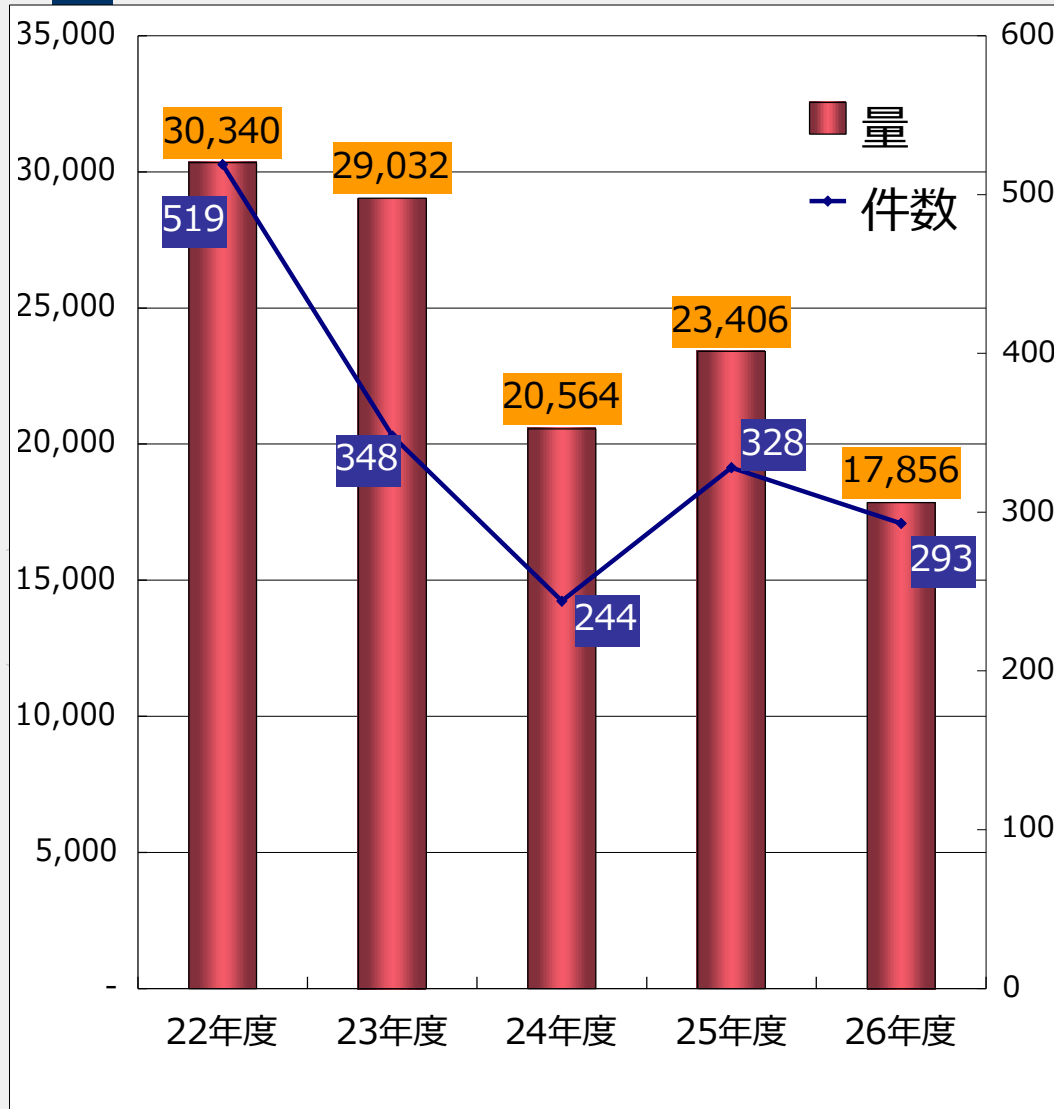
平成27年度 柏市不法投棄対策協議会

平成27年7月22日
柏市不法投棄対策協議会



(1) 平成26年度不法投棄対策 事業報告について

処理量推移



26年度不法投棄件数

293件 (昨年対比-35件)

17,856kg (// -5,550kg)

【要因】

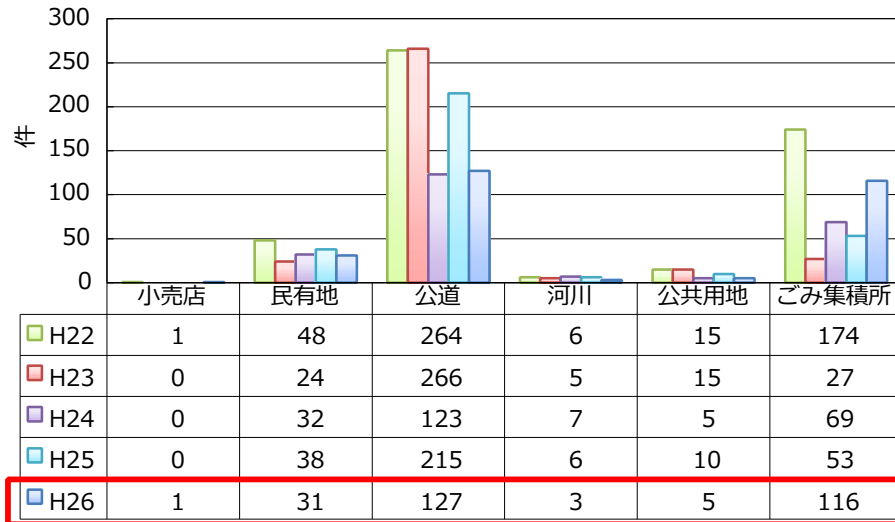
雑ごみ等のごみ集積所で通常回収ができる物の不法投棄が減少した。

テレビ、冷蔵庫、洗濯機といった家電リサイクル法対象品やタイヤなど処分に手間と費用を要する処理困難物の不法投棄は前年度よりもやや減少した。

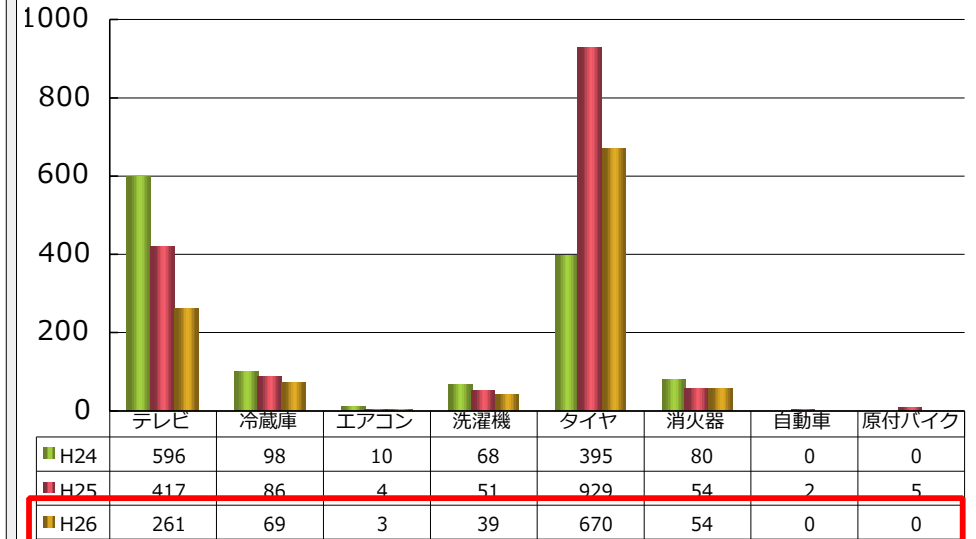
市による不法投棄回収量減少の要因として、ボランティア団体や美化サポーターの活動が活発化したことが挙げられる。

発生箇所・品目推移

不法投棄発生場所推移



処理困難物処分数推移



【傾向と推移】

- 前年に比べ公道への不法投棄が減少した分ごみ集積所への不法投棄が増加した。
- テレビ、タイヤの不法投棄数が減少傾向にあるものの依然として多い。

【要因と対策】

- 不法投棄量の減少に比例し処理困難物の処分数も減っている。
- 不法投棄防止看板のデザインを新しくし、目に付きやすく内容がより伝わりやすいものとなった。
- 処分に費用がかかるものの内、テレビの処理数が最も減少している。地デジ化などの買い替えが落ち着き、不法投棄が減っているものと思われる。

発生ケース1



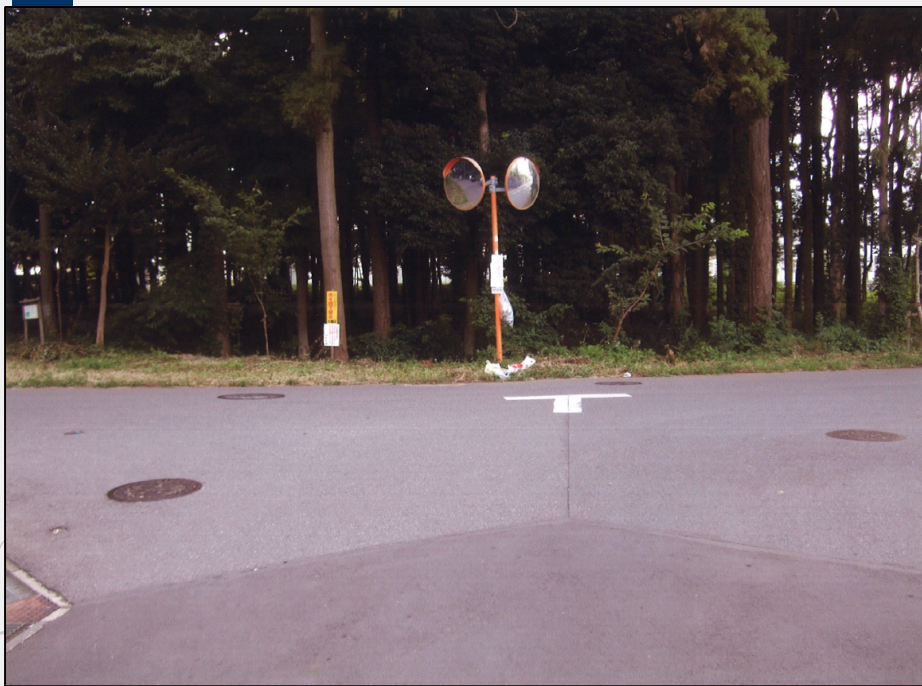
【経緯】

風早1丁目において、柏警察署より布団・家具類の不法投棄の連絡があった。

【対応】

- ・ 投棄物に行為者を特定する物が含まれており行為者による処分を行わせるため、柏警察署より回収と一時保管の協力依頼を受けた。
- ・ 柏警察署と連携し、投棄物の計測及び収集を行った。
- ・ 縦124cm, 横82cm, 高さ83cm, 重さ60kg
- ・ 現在、山高野浄化センターにて投棄物を保管中。

発生ケース2



【経緯】

市民より南部クリーンセンターに増尾における不法投棄の相談があり、環境サービス課及び産業廃棄物対策課に連絡があった。

当該地には頻繁に投棄があり、事業系のごみが捨てられていることもあった。

【対応】

- 投棄物は市で回収を行った。
- 産業廃棄物対策課によるパトロール及び監視を実施し、現在鎮静化している。

発生ケース3



【経緯】

若白毛において、柏警察署より動物の死体がある旨の連絡を受け、現場確認を行った。

【対応】

- 投棄物は「豚の死骸」であり、畜産農業を営む者によるものであれば産業廃棄物となるため、産業廃棄物対策課と投棄物の確認を行った。
- 現物確認を行ったが、畜産農業によるものかは判然とせず、行為者の特定にも至らなかった。

他市比較

不法投棄処理量及び件数

	件数	処理量(kg)	カメラ周辺啓 発状況	類似項目
我孫子	209	12,430	－	－
印西	212	－	看板, セン サーライト	－
野田	－	101,140	看板	カメラ数
松戸	483	－	－	人口, 世帯数
柏	293	17,856	看板	－

【要点】

- ・パトロールとカメラにより抑止効果は見られたが、平成27年度は再び増加の傾向にある。（印西市）
- ・パトロールには限界があるため、カメラでの対策を考えている。（印西市）
- ・産業廃棄物の投棄が減っている代わりに、レジ袋に入れらたぽい捨てごみのようなごみが目立ってきている。（野田市）